

アガサ・クリスティー 『アクロイド殺し』



ミステリーの女王

アガサ・クリスティー（1890-1976）

イギリス生まれ。生涯で100以上の作品を残す。中産階級の家生まれるが、後に貧困を体験。その際に読書にのめりこむ。夫のアーチボルド・クリスティと結婚していたが、クリスティは突然姿を消し、世間を騒がせた。1930年、クリスティは考古学者のマックス・マローワンと結婚し、以後、毎年数ヶ月を彼とイラクやシリアで過ごした。大英帝国勲章デーム・コマンダーを受章。



○名探偵

・エルキュール・ポアロ

ベルギー人。身嗜みに気を配り、口髭がトレードマーク。

口癖は、「私の灰色の脳細胞が…」。

第一次世界大戦に従軍。「スタイルズ荘の怪事件」にて、初登場。アーサー・ヘイスティング大尉は、ポアロシリーズにおける主な語り手。

・ミス・マープル

編み物が得意、人間観察が趣味。

今まで出会った交友関係、人生経験から犯人を当てはめて推理していくユニークな手法。

おススメ作品出版年

1920	スタイルズ荘の怪事件	ポアロ
1926	アクロイド殺し	ポアロ
1930	牧師館の殺人	マープル
1934	オリエント急行の殺人	ポアロ
1935	ABC殺人事件	ポアロ
1937	ナイルに死す	ポアロ
1939	そして誰もいなくなった	ポアロ
1939	ステュムパロスの鳥 from	ヘラクレスの冒険
1944	春にして君を離れ	
1953	葬儀を終えて	ポアロ



あらすじ

冒頭—フェラーズ夫人が自殺した。夫人は、何者かに夫の殺害を脅迫され、大金を渡していた。

恋人のロジャー・アクロイドはその事実を知り、自身も怯え、シェパード医師にこの出来事を打ち明けていた。シェパード医師がロジャー邸から帰宅後、執事のパーカーから「ロジャーが殺された」という謎の電話を受けた。医師が急いで、ロジャー邸に向かうと執事はそんな電話はかけていないという。その夜にロジャーは、家のガラステーブルに保管されていた短剣で刺され、死亡していた。部屋の鍵はかかったまま、窓は空いており、男の靴跡があった。

事件後、息子のラルフ・ペイトンが行方不明となり、彼にロジャー殺害の疑いがかかった。

探偵ポアロは調査に乗り出す。事件の謎が浮かび上がる。

あらすじ（続き）たくさんある～

- ・シェパード医師にかかってきた謎の電話。キングズ・アボット駅からかかってきた。誰が
- ・シェパード医師が、ロジャー邸からの帰路で出会った謎の男の正体
- ・犯行時刻、全員のアリバイは？
- ・ラルフ・ペイトンは何故、何処に行方をくらましたのか
- ・ロジャーの書斎の窓が空き、靴跡があった。誰の靴跡？
- ・ロジャーの書斎で死体発見時、座れない位置に置かれた安楽椅子
- ・凶器の短剣が入ったシルヴァーテーブルの蓋が空いていた。誰が開けたのか
- ・東屋で見付けた羽軸つきの羽根、糊のついたハンカチーフの切れ端。これは何？
- ・ラルフが事件当夜に会っていた謎の女性是谁か
- ・ロジャー殺害の動機は？ 金か？ フェラーズ夫人の脅迫者か？
- ・池で見つけた「Rより、3月13日」の指輪。これは何？
- ・ロジャーの盗まれたお金。誰が。
- ・メイドのアーシュラ・ボーンはなぜ解雇されたか。ロジャーと30分話した？
- ・ポアロはなぜラルフの編み上げの靴の色を気にする？ 黒？ 茶色？
- ・家政婦のラッセルはなぜ医師に毒の話を？

★多重噓くずし！



犯人以外の 人物の嘘



★ネタバレ★登場人物相関図

フェラーズ夫人

地元の盟主。金持ちの妻。ロジャー・アクロイドと恋人。金持ち夫が嫌な奴で思わず殺害。殺害したことが、“脅迫者”にバレ、大金を巻き上げられる。それを苦に、小説の冒頭で自殺。

ロジャー・アクロイド(以下、ロジャー)

地元の盟主。ドケチ。フェラーズ夫人の恋人。フェラーズ夫人の自殺と“脅迫者”の存在を知り、怯えていた。シェパード医師と面会后、短剣で刺されて死亡していたのを発見された。

ラルフ・ペイトン

ロジャーの養子。イケメン。ロジャーに言われてフローラと婚姻関係。ロジャー死亡後、行方不明になっており、第一容疑者として強く疑われる。本当はアシュラー・ボーンと結婚していた。

フローラ・アクロイド

ロジャーの姪。お金に困っている。

お金に困っていたため、ラルフと婚姻関係を偽るが、本当はヘクター・ブラント少佐に気がある。盗難事件の犯人。

セシル・アクロイド

ロジャーの義理の妹。フローラの母。お金に困っている。ロジャーを殺した短剣が入っていたガラスのテーブルを開けた犯人。

ジェフリー・レイモンド

ロジャーの秘書。多額の借金があり、ロジャーが死ぬと得をする人。

ジョン・パーカー

ロジャーの執事。陰険なやつ。前主の悪事を知り、そのネタで前主を脅して金を巻き上げていた。ロジャーへのゆすりのネタを探していた。

★ネタバレ★登場人物相関図

ミス・ラッセル

アクロイド家の家政婦。不審な男、チャールズ・ケントの母。ケントが薬物中毒であることを心配している。ケントのアリバイを証明。

アーシュラ・ボーン

アクロイド家の小間使い。ラルフ・ペイトンと結婚している。ラルフとフローラとの婚姻を知り、ロジャーに真実を打ち明け、解雇された。

ヘクター・ブラント

ロジャーの旧友。フローラが好き。

ジェームズ・シェパード医師

医師。本作の手記の語り部。犯人。

キャロライン

シェパード医師の姉。噂好き。ポアロに様々な情報提供をしたために、シェパード医師が犯人だとバレた。

それぞれに関係する謎と答え

- ・家政婦のラッセルはなぜ医師に毒の話をする？
- ・シェパード医師が、ロジャー邸からの帰路で出会った謎の男の正体
- ・東屋で見付けた羽軸つきの羽根、糊のついたハンカチーフの切れ端（メイドエプロンと麻薬）

→息子がアル中で、事件の夜に東屋で会っていたから

★アシュラー・ラルフに関する謎

- ・池で見つけた「Rより、3月13日」の指輪
- ・アーシュラ・ボーンはなぜ解雇されたか。ロジャーと30分話した？
- ・ラルフが事件当夜に会っていた謎の女性
- ・ラルフ・ペイトンは何故、何処に行方をくらましたのか

→ラルフと結婚していた。ラルフはマズイ状況からずらかろうと行方不明になっていた。
ポアロのハッターで、シェパード医師の手引きで精神患者収容所にいたことが分かった

★フローラに関する謎

- ・盗まれたお金。誰が。→お金に困っていた

★セシルに関する謎

- ・狂気の短剣が入ったシルヴァーテーブルが空いていたため、誰でも盗めた。誰が開けたのか
- お金に困っており、値打ちものか調べるために開けた

- 作中の人物
- 読者

への犯人の嘘



犯人のトリック ★アリバイトリック

★9:30には死んでいた！！

- ・ シェパード医師にかかってきた謎の電話。キングズ・アボット駅からかかってきた。誰が。←医師が患者に頼んだ
- ・ ロジャーの書斎で死体発見時、座れない位置に置かれた安楽椅子←録音機を隠すため
- ・ アリバイトリック←録音機、犯人が犯行現場から盗むタイミング、包むカバンを持っていた
- ・ ラルフの靴を盗めた
- ・ 殺害動機は脅迫していた事実を隠すため

★信頼できない語り部★

ありがとう
ございました

